

教育委員会会議 定例会

令和5年12月13日

# 提出議案綴

山梨県教育委員会

# 1 議 案

第 28 号 県議会に提出する予定案件について

第 29 号 「山梨県スポーツ推進計画」の改定について

# 2 報 告 事 項

な し

# 3 その他報告

( 8 ) 令和5年度第2回いじめ実態調査報告等について

議案第 28 号

県議会に提出する予定案件について

[別途資料配付]

## 議案第 29 号

### 「山梨県スポーツ推進計画」の改定について

#### 提案理由

現行の「山梨県スポーツ推進計画」は、計画期間が令和5年度までとなっている。5年間の計画の進捗状況を反映させるとともに、スポーツを巡る社会状況の変化に対応するため改定する必要がある。スポーツ基本法第10条第2項の規定に基づき、知事は計画の改定にあたり、あらかじめ教育委員会の意見を聴く必要がある。

これが、この議案を提出する理由である。

(令和5年12月13日 定例教育委員会)

		課室名	保健体育課 スポーツ振興課
件名	「山梨県スポーツ推進計画」の改定について		
経緯	<p>○ 山梨県スポーツ推進計画は、スポーツ基本法(以下「基本法」という。)第10条第1項に基づき、令和元年6月に策定し、令和3年12月に一部改定した。</p> <p>○ 計画期間が令和5年度末までであり、改定の時期にある。これまでの5年間の進捗状況を反映させるとともに、大きく変化してきているスポーツを取り巻く社会状況に対応させるため、改定する。</p> <p>○ このため、基本法第10条第2項に基づき、教育委員会の意見を聴く必要がある。</p>		
内容	<p>1 改定理由</p> <p>①スポーツ推進計画の進捗状況の反映</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症の影響により、取組ができなかったため、ほとんどの数値目標は達成できなかった。</li></ul> <p>②スポーツを取り巻く社会の変化への対応</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・新型コロナウイルス感染症の影響</li><li>・東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催</li><li>・山梨県内のその他の動き</li><li>・第3期スポーツ基本計画(文科省)策定</li></ul> <p>2 改定内容</p> <p>基本方針を次の5つとする</p> <ul style="list-style-type: none"><li>I 子どものスポーツ機会の充実</li><li>II 身近にスポーツを楽しむ習慣の定着</li><li>III スポーツによる共生社会の実現</li><li>IV 競技力の向上</li><li>V スポーツによる経済の好循環</li></ul> <p>3 スケジュール</p> <p>令和6年3月下旬の庁議後、ホームページ上で公表する。</p>		

根 拠

資料 1

○ スポーツ基本法（平成23年法律第78号）

（地方スポーツ推進計画）

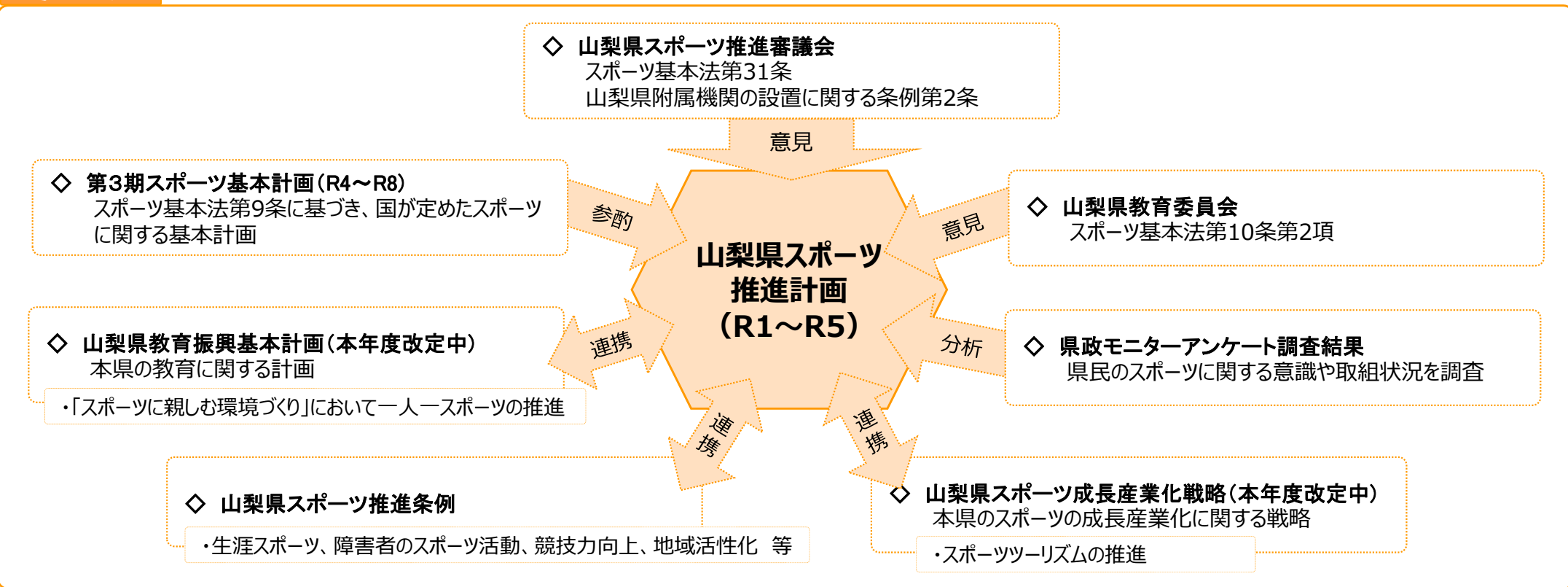
第10条 都道府県及び市町村の教育委員会・・・は、スポーツ基本計画を参酌して、その地方の実情に即したスポーツの推進に関する計画（以下「地方スポーツ推進計画」という。）を定めるよう努めるものとする。

2 特定地方公共団体の長が地方スポーツ推進計画を定め、又はこれを変更しようとするときは、・・・教育委員会の意見を聴かなければならない。

（都道府県及び市町村のスポーツ推進審議会等）

第31条 都道府県・・・に、地方スポーツ推進計画その他のスポーツの推進に関する重要事項を調査審議させるため、条例で定めるところにより、審議会その他の合議制の機関（以下「スポーツ推進審議会等」という。）を置くことができる。

考 え 方



スケジュール (案)	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
				● スポーツ推進 審議会		● スポーツ推進 審議会	● 教育委員会 会議	● スポーツ推進 審議会	⇔ パブコメ	策定

計画の進捗状況

基本方針Ⅰ（子供のスポーツ機会の充実）

政策項目	指 標	2018年度 (H30) の値	2019年度 (R元) 実績値	2020年度 (R2) 実績値	2021年度 (R3) 実績値	2022年度 (R4) 実績値	2023年度 (R5) 目標値
1	①「全国体力・運動能力、運動習慣調査」における授業以外でほとんど毎日（週420分以上）運動やスポーツを実施している児童の割合（小5）	男 56.9%	男 55.6%	（調査未実施）	男 54.3%	男 54.1%	男 59%
		女 34.0%	女 31.6%	（調査未実施）	女 33.8%	女 34.0%	女 37%
	②「全国体力・運動能力、運動習慣調査」における児童の体力合計点の全国体力合計点との比較（県平均/全国平均）×100（小5）	男 98.9%	男 98.7%	（調査未実施）	男 98.4%	男 97.9%	男 100%
		女 99.1%	女 98.7%	（調査未実施）	女 99.2%	女 98.6%	女 100%
2	平日1日と土日どちらか1日を休養日としている部活動顧問の割合（中学・高校）	中学校 平日 80.4% 土日 93.2%	中学校 平日 86.0% 土日 96.5%	中学校 平日 84.5% 土日 96.1%	中学校 平日 89.6% 土日 96.1%	中学校 平日 91.1% 土日 97.2%	中学校 平日 100% 土日 100%
		高校 平日 79.0% 土日 80.9%	高校 平日 79.4% 土日 84.2%	高校 平日 81.3% 土日 85.8%	高校 平日 85.0% 土日 87.9%	高校 平日 83.8% 土日 86.7%	高校 平日 90%超 土日 90%超

結果

○政策項目 1 ①②  
 ・子供の運動習慣の確立体力の向上目指し、「健康・体力向上一校一実践運動」等の実施した。男子は低下、女子は横ばい傾向であった。山梨県は男女とも全国平均を上回っているが、コロナ禍前と比較して低下傾向にある。スポーツ活動等の制限、学校全体で体力向上に取り組む機会の減少が体力の低下に影響していると考えられる。

○政策項目 2  
 「やまなし運動部活動ガイドライン」における教員の理解が進んだため、改善傾向にある。  
 ・令和2年度中学校における割合の低下の要因は、コロナ禍により密を避け分散して早朝練習等を行ったため、見かけ上割合が低下した。  
 ・令和4年度高校における割合が低下した要因は、令和2年度は臨時休業期間、令和3年度は部活動自粛期間があったが、令和4年度は部活動が年間通じて通常通り行われたためである。

分析

○政策項目 1 ①②  
 ・コロナ感染症が5類に引き下げられた事を契機に、授業の工夫・改善や、運動強度の高めるなどの取組を一層推進するとともに、「目指せやまなしチャンピオン」事業、「もっと楽しい体育授業で体力アップ」等の取組を通じて、子どもが運動の楽しさを認識し自ら運動活動に取り組む指導が必要と考える。

○政策項目 2  
 ・「やまなし運動部活動ガイドライン」等に基づき、各学校において策定した「部活動活動方針」等の基準に基づいた部活動運営を適切に進めるよう、会議等を通じて教職員に徹底していくとともに、超過勤務傾向のある教員について、所属する該当校長から指導を行い、適切な部活動運営が行われるよう指導を行うなどの取組が必要と考える。

基本方針Ⅱ（健康教育の充実）

政策項目	指 標	2018年度 (H30) の値	2019年度 (R元) 実績値	2020年度 (R2) 実績値	2021年度 (R3) 実績値	2022年度 (R4) 実績値	2023年度 (R5) 目標値
1	全国体力・運動能力、運動習慣調査における「朝食を食べない日が多い」「食べない」児童生徒の割合（小5・中2）	小5男 2.2%	小5男 2.0%	（調査未実施）	小5男 2.5%	小5男 2.6%	小5男 2.0%
		小5女 1.4%	小5女 1.7%		小5女 1.9%	小5女 1.8%	小5女 1.3%
		中2男 4.8%	中2男 4.2%		中2男 4.4%	中2男 4.3%	中2男 4.6%
		中2女 3.9%	中2女 4.0%		中2女 4.2%	中2女 5.0%	中2女 3.5%

結果

○政策項目 1  
 ・全国平均値と比較すると本県の朝食欠食習慣のある児童生徒の割合は小さいが、中学校男子を除き欠食習慣の割合が基準値より増加しており、目標値達成に向けた望ましい進捗状況とならなかった。

分析

○政策項目 1  
 ・朝食摂取には、朝の望ましい生活リズムが不可欠であり、睡眠時間の十分な確保やスマホの利用時間など、生活習慣全体に目を向けた指導が必要である。教職員が連携して個々の朝食欠食の理由を把握し改善への働きかけを行うとともに、保護者との面談などの機会に改めて朝食摂取の大切さを伝えるなど、学校と家庭が協力して子どもの朝食摂取習慣をつくる必要がある。

## 基本方針Ⅲ（若年期から高齢期までライフステージに応じた生涯スポーツの推進）

政策項目	指 標	2018年度 (H30) の値	2019年度 (R元) 実績値	2020年度 (R2) 実績値	2021年度 (R3) 実績値	2022年度 (R4) 実績値	2023年度 (R5) 目標値
1	過去1年間に一度も運動・スポーツを実施しなかった人の割合	20.3%	19.9%	24.9%	18.6%	21.3%	10.0%
2	総合型地域スポーツクラブに関する実態調査におけるPDCAサイクルにより運営の改善等を図っている総合型地域スポーツクラブの割合	30.4%	33.3%	23.1%	22.2%	37.5%	70.0%

## 結果

## ○政策項目 1

- ・新型コロナウイルスの影響により、スポーツが「不要不急」のように扱われ、日常生活から制限される状況となり、未実施率は増加し、目標が達成できなかった。
- ・R2:コロナが蔓延し、初めて緊急事態が宣言されるなど活動が制限
- ・R3:感染者数の波が小さく、コロナ対策も周知され、活動を徐々に再開
- ・R4:感染者数の波が大きく、活動を自粛していた状況

## ○政策項目 2

- ・新型コロナウイルスの影響により、様々な活動が自粛や制限される中、総合型スポーツクラブ存続のため活動を維持することに注力し、運営の改善まで対応できず、目標が達成できなかった。

## 分析

## ○政策項目 1

- ・モニター調査によると、主な活動相手について、ひとりの割合が、R1は39.7%であったが、R4は48.4%となり、コロナ禍を経て、ひとりで活動している割合は増加している。
- ・今後、ひとりで気軽に運動できる取組など、主体に応じて運動習慣を定着させることが必要と考える。

## ○政策項目 2

- ・対策として、クラブへの個別ヒアリングにより、質向上のため日本スポーツ協会が実施している登録・認証制度を周知するとともに、指導者の養成講座を開催した。
- ・今後、クラブの質的充実を図るため、引き続き情報共有を図るとともに、クラブが地域で認知され、活動の幅を広げるとともに、参加者を増やす取組が必要と考える。

## 基本方針Ⅳ（競技力の向上）

政策項目	指 標	2018年度 (H30) の値	2019年度 (R元) 実績値	2020年度 (R2) 実績値	2021年度 (R3) 実績値	2022年度 (R4) 実績値	2023年度 (R5) 目標値
1	①ターゲットエイジを対象とした発掘・育成事業を実施している競技団体の割合	36.6%	87.8%	80.5%	78.0%	82.9%	100%
	②国民体育大会における天皇杯得点と順位	803点	809点	(延期)	(中止)	816.5点	900点
		36位	37位	(延期)	(中止)	33位	20位台
2	競技力向上に係る優秀な若手指導者を育成・強化している競技団体の割合	24.4%	34.1%	48.4%	56.1%	61.0%	100.0%

## 結果

## ○政策項目 1 ①

- ・R1の新事業により大幅に改善したものの、新型コロナウイルスの影響による活動制限により、段階的にイベントや講習会等事業が中止となったため、目標が達成できなかった。

## ○政策項目 1 ②

- ・ジュニアの発掘・育成、指導者の育成における実績の上昇により、個人競技や測定型・採点型競技は向上している。
- ・一方で、サッカーやホッケーなどの高得点が獲得できる集団球技種目は、新型コロナウイルスの影響により集団練習や県外交流が制約されたため、全国での成績に大きな変動が生じなかったと思われる。

## ○政策項目 2

- ・新型コロナウイルスの影響により、講習会の中止や県外講習会へ参加できず、目標が達成できなかった。

## 分析

## ○政策項目 1 ①

- ・小規模な競技団体において、指導者が少なく柔軟な対応が難しいことがうかがえる。
- ・R4までの活動制限も解除となったことから、R5以降は100%に近づくと考えられ、今後は高水準を維持していくことが必要と考える。

## ○政策項目 1 ②

- ・今後、より効果的な強化を図るため、ハイレベルな対戦相手との交流試合等の機会や医・科学方向のサポートをさらに充実させていくことが必要と考える。

## ○政策項目 2

- ・活動制限の解除により割合は向上してきているか、小規模な競技団体においては、対象者が少ないことがうかがえる。
- ・今後、育成した選手が指導者になる好循環を目指し、継続していくことが必要と考える。



# 山梨県スポーツ推進計画の改定に向けて

資料3

## 山梨県スポーツ推進計画 (R1~R5)

### 【基本理念】

「県民誰もが、いつでも、どこでも  
スポーツに親しめる元気なやまなしをつくる」  
～「する」「みる」「ささえる」スポーツの推進！～

### I 子供のスポーツ機会の充実

- 1 子供の運動習慣の確立と体力の向上
- 2 持続可能な運動部活動環境の構築

### II 健康教育の充実

- 1 学校保健、学校給食及び食育等の推進
- 2 学校安全の推進

### III 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進

- 1 一人一スポーツの推進 [R3改定]
- 2 総合型地域スポーツクラブの充実と指導者育成、施設や情報の充実

### IV 競技力の向上

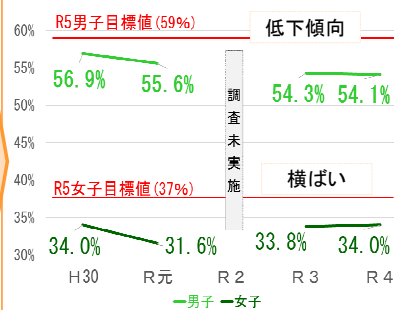
- 1 次世代アスリートの戦略的な発掘・育成
- 2 一貫指導体制の推進
- 3 スポーツ医・科学の活用
- 4 障害者のスポーツ活動の推進

### V スポーツを通じた地域の活性化

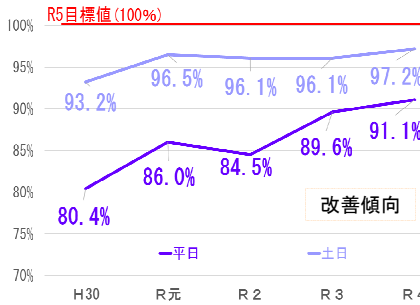
- 1 オリンピック・パラリンピック教育の推進
- 2 東京オリンピック・パラリンピック成果の活用 [R3改定]
- 3 スポーツによる地域振興
- 4 「ささえる」スポーツの機会拡大

## スポーツ推進計画の主な進捗状況

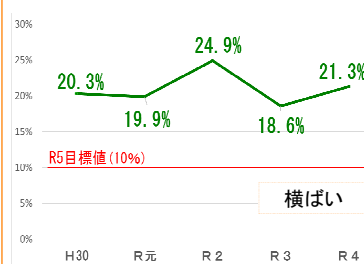
・授業以外でほとんど毎日(週420分以上)運動やスポーツを実施している割合(小5)



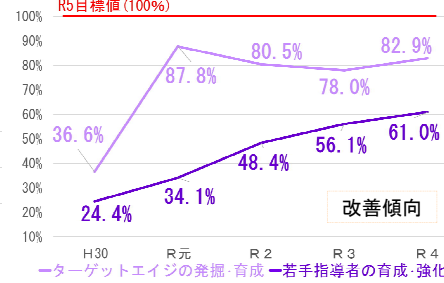
・平日1日と土日の1日を休養日としている部活動顧問の割合(中学校)



・過去1年間に一度も運動・スポーツを実施しなかった人の割合



・競技力向上のための事業を実施した競技団体の割合



## 社会の変化

### ① 新型コロナウイルス感染症

・生活における自粛、スポーツ活動の制限

### ② 東京オリンピック・パラリンピック競技大会

### ③ その他県内の動き

・やまなしスポーツエンジンの創設

・令和14年国スポ・全スポ開催内々定(決定)

### ④ 第3期スポーツ基本計画(文科省)(R4~8)策定

○今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む主な施策

・多様な主体におけるスポーツの機会創出

・スポーツを通じた共生社会の実現

・スポーツの成長産業化

・スポーツによる健康増進

## 主な課題

- 子供のスポーツ機会の充実
- 身近にスポーツを楽しむ習慣の定着
- スポーツによる共生社会の実現
- 競技力の向上
- スポーツにおける経済の好循環

## (改定)山梨県スポーツ推進計画素案 (R6~R8)

### 【基本理念】

「だれもが、いつでも、どこでもスポーツに親しめる  
豊かなやまなしをつくる」  
～「する」「みる」「ささえる」スポーツのさらなる推進！～

### I 子供のスポーツ機会の充実

- 1 子供の運動時間の増加と体力の向上
- 2 運動部活動改革の推進

### II 身近にスポーツを楽しむ習慣の定着

- 1 一人一スポーツの推進  
(子ども・若者、働く世代・子育て世代、高齢者)
- 2 地域スポーツを推進する体制の充実  
(総合型地域スポーツクラブ、地域の指導者 等)
- 3 スポーツにアクセスできる環境の充実  
(情報提供の充実、施設の整備 等)

### III スポーツによる共生社会の実現

- 1 誰もがスポーツに親しめる機会の創出  
(障害者、家庭状況、国際交流)
- 2 多様なスポーツに触れる機会の創出  
(アーバンスポーツ、パラスポーツ 等)

### IV 競技力の向上

- 1 「次世代」につなぐ戦略的な人材創出  
(選手の発掘・育成・強化)
- 2 アスリートを支える指導体制の充実
- 3 スポーツ環境の向上

### V スポーツにおける経済の好循環

- 1 スポーツの成長産業化  
(スポーツツーリズム、やまなしスポーツエンジン 等)
- 2 国民スポーツ大会・全国障害者スポーツ大会の開催
- 3 東京オリンピック・パラリンピック成果の継承  
(サイクルスポーツ、合宿誘致 等)

※ 青文字は、新規及び拡充政策目標

令和5年度第2回いじめ実態調査報告等について  
[別途資料配付]